



平成30年2月5日

春の訪れを感じる

2月になると学校では、春を思わせる行事が始まります。その最初が、2月1日（木）に行った、入学説明会です。体験授業で子供たちは、鳥の工作をしました。どの子も説明を聞き逃さず、丁寧にハサミやクレヨンを動かしています。なんだか頼もしさまで感じられます。紙芝居を見ました。食い入るような表情で、教師の持つ絵に視線が集中しています。もう立派な小学生のようです。私の心はほのぼのと、一足早く春の訪れを感じていました。一方、説明会に参加された保護者のみなさんは、朗らかな表情で説明に耳を傾けていらっしゃいます。とても協力的な雰囲気を感じます。4月がいつそう楽しみになりました。



〈工作に取り組む子供たち〉

ほのぼのとした気持ちになれた陰には、もっと心温まることができました。数年に一度と言われた先月の寒波のため、たくさんの雪が降りました。学校には除雪した雪が、まさに山のようにうずたかく残っていました。このままでは、入学説明会を初めとしてたくさんの駐車スペースを必要とする行事に支障が出ます。何とかならないものかと市教育委員会にも相談していました。そんな中、駐車場の排雪作業が始まりました。



〈進む排雪作業〉

「大事な行事があるのに駐車場がないと大変でしょう」保護者の方が進んでくださったのでした。これで入学説明会のため来校される保護者の方々の駐車スペースが確保できました。無事に当日を迎えられると安心しました。次の日、タイヤチェーンの音がします。外に目をやると重機やトラックがいます。今度はスクールバスの車庫側の駐車場の排雪作業が始まっています。連日の作業に頭が下がります。2日間に渡る作業で駐車場はすっきりとし、春が来たかのような様子になりました。

このとき私の心の中にも春が訪れたかのような感じでした。

やはり東明小学校に関わる、子供たち・保護者の方々は、素晴らしいです。その中で生活でる幸せを感じます。